

みずほCustomer Desk Report 2023/04/21号 (As of 2023/04/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.92
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.72	1.0953	147.50	1.2428	0.6705
SYD-NY High	134.97	1.0990	147.80	1.2467	0.6772
SYD-NY Low	134.02	1.0934	147.07	1.2405	0.6697
NY 5:00 PM	134.24	1.0972	147.26	1.2444	0.6743
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,786.62	▲ 110.39	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	12,059.56	▲ 97.67	日本10年債	0.4700%	0.0000%
S&P	4,129.79	▲ 24.73	米国2年債	4.1487%	▲0.0972%
日経平均	28,657.57	50.81	米国5年債	3.6281%	▲0.0741%
TOPIX	2,039.73	▲ 0.65	米国10年債	3.5347%	▲0.0552%
シカゴ日経先物	28,630.00	50.00	独10年債	2.4425%	▲0.0605%
ロンドンFT	7,902.61	3.84	英10年債	3.7570%	▲0.0980%
DAX	15,795.97	▲ 99.23	豪10年債	3.5200%	0.0260%
ハンセン指数	20,396.97	29.21	USDJPY 1M Vol	10.43%	▲0.21%
上海総合	3,367.03	▲ 3.10	USDJPY 3M Vol	10.52%	▲0.02%
NY金	2,019.10	11.80	USDJPY 6M Vol	10.57%	▲0.05%
WTI	77.37	▲ 1.87	USDJPY 1M 25RR	▲1.69%	Yen Call Over
CRB指数	271.91	▲ 3.11	EURJPY 3M Vol	10.36%	▲0.05%
ドルインデックス	101.84	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	10.61%	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は134.72レベルでオープン。日本株がマイナス幅を縮小させる動きや5・10日の実需の買いに支えられ、134.97まで上昇。しかし135円の節目を前に失速すると、米金利の低下も相俟って134.48まで下落し134.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、134.55レベルでオープン。欧州株はややリスクオフの立ち上がりで円買い優勢で始まるも、午後に米指標を控えてかもみ合いに。やや方向感に欠ける展開で結局134.68レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0970レベルでオープン。終始もみ合い。午後に3月のECB議事録が公表されると概ね予想通りの内容であったこともあり影響は限定的。1.0955レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台後半でスタート。5・10日に伴う実需の買いが先行し135円台手前付近まで上昇するも、心理的節目が意識した売りに上値を抑えられた。その後は米経済指標発表待ちで様子見ムードが強まり、134.70付近を挟んだ方向感の乏しい推移が続き134.68レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数、米失業保険継続受給者数が共に予想を上回り、また米4月フィラデルフィア連銀景況が予想より大きく悪化し、米経済のリセッションが懸念再燃を受けて、リスクオフの円買い優勢。続いて発表された米3月中古住宅販売件数(前月比)の結果も予想を下回り、安値134.02を付ける。その後は下げ渋り、134.10付近で揉み合い。午後はマスター・グループラント連銀総裁が利上げ停止を意識させる発言をするも、市場は反応薄。その後はじり高で推移し134.30近辺まで戻し、134.24レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。狭いレンジでの推移が続き、仏4月製造業信頼感指数が予想を下回り、小幅反落。その後1.0970台を挟んだ動きが続き、1.0955レベルでNYオープン。オープン直後は1.0934まで下落するも、先述の米経済指標の内容、並びにECBラルト総裁の「インフレは依然高すぎる」との利上げ継続示唆発言を受け、1.0990まで急伸。その後は伸び悩み1.0970台付近まで反落。午後は横ばいでの推移が続き、結局1.0972レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・松木

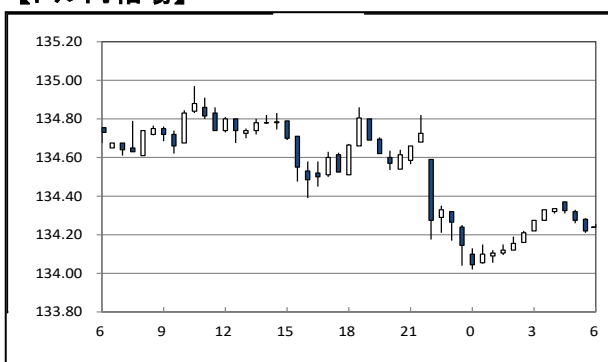
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月20日	08:50	日 貿易収支	3月 -¥754.5b	-¥1294.8b
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月 -2.6%/7.5%	-0.6%/9.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	15-Apr 245k	240k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	4月 -31.3	-19.3
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 4.44m	4.50m

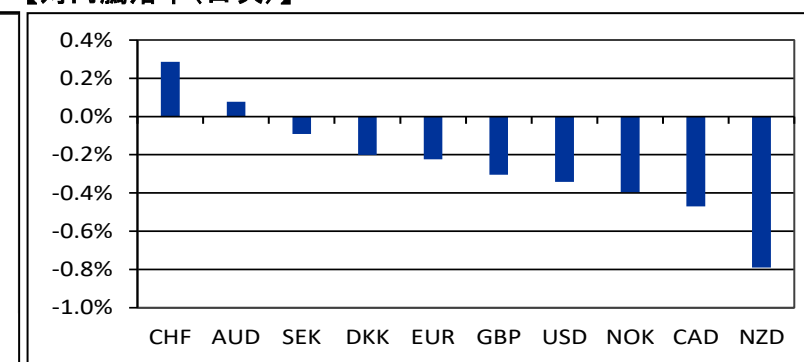
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月21日	08:30	日 全国/全国コア/全国コアCPI	3月 3.2%/3.0%/3.6%	3.3%/3.1%/3.5%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料)(前月比/前年比)	3月 -0.6%/-3.1%	1.5%/-3.3%
	16:30	独 製造業PMI・速報	4月 45.7	44.7
	16:30	独 サービス業PMI・速報	4月 53.4	53.7
	16:30	独 コンホジットPMI・速報	4月 52.9	52.6
	17:00	欧 製造業PMI・速報	4月 48.0	47.3
	17:00	欧 コンホジットPMI・速報	4月 53.7	53.7
	17:00	欧 サービス業PMI・速報	4月 54.5	55.0
	17:30	英 製造業PMI・速報	4月 48.4	47.9
	17:30	英 サービス業PMI・速報	4月 52.8	52.9
	17:30	英 コンホジットPMI・速報	4月 52.2	52.2
	22:45	米 製造業PMI・速報	4月 49.0	49.2
	22:45	米 サービス業PMI・速報	4月 51.5	52.6
	22:45	米 コンホジットPMI・速報	4月 51.2	52.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.60-134.80	1.0900-1.1010	146.40-147.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は米時間に下落。東京序盤は5・10日に伴うドル買い需要から上昇するも、135円の節目を手前に失速。米金利低下の動きもあり、134円台半ばまで下落した。米時間に発表された指標は総じてさえない結果となり、米経済のリセッションリスクが再燃する中で、円買い優勢の地合いとなると一時134.02まで下落した。
本日のドル円は指標次第ではあるが、下落リスクに警戒をしたい。米リセッションがマーケットのテーマとなっており、ドル円相場においては米指標のさえない結果への感応度が高い印象がある。そんな中、本日は欧米でPMIが発表が予定されている状況。昨日は134円で反発をしている状況ではあるが、各地域のPMIで不芳な結果が確認されると、ドル円ならびにクロス円で下押し圧力がかかる可能性もあろう。